

文化博物館だより No.90

みなさん、こんにちは。

秋晴れの下、小学校からは運動会の音楽。さわやかな風とともに子どもたちの歓声も届いてきます。博物館では秋季特別展が始まりました。

1. 秋季特別展「有元利夫展 光と色・思い出を運ぶ人」

9月30日(金)16:00、一般公開を前に開会式が行われました。日本画家としても活躍されている有元利夫夫人の容子氏も来館されました。「有元の主だった作品が一堂に集まっています。絵は見るものではなく、感じるもの。どれか一つでも心に残る作品を見つけてください。」また、「有元の使った岩絵具などの美しさや特徴にも目を留めて、できるだけ近づいて見てください。」と話されました。



有元容子氏



森田教育長



テープカット

この日は、明石高校美術科の生徒たちも参加し、テープカットの後、有元作品をじっくりと鑑賞していました。作品の前では先生と一緒に「うーん、この額縁もすごいね。いろいろと手が入られてるんだね。どうやって作ってるんだろ。」と生徒たちも興味津々の様子です。長い年月が流れ、風化してしまったかのように見える画面の質感は不思議な感じで、筆の跡もわかりません。その周りを包む額縁までもが時の流れを感じさせるような印象を与えてくれます。



講演会

日時 10月15日(土) 14:00から

講師 有元容子氏(日本画家・有元利夫夫人)

会場 当館2階大会議室

申込み 事前に予約が必要です。(10月1日(土)午前9時より電話受付中)

聴講には展覧会観覧料が必要です。

明石市立文化博物館

編集：永田浩史